

大船渡だより

地域のイベントや活動紹介

“震災から丸9年…”

東日本大震災から丸9年を迎えた3月11日、大船渡市では市民文化会館『リアスホール』で犠牲者追悼式を行ないました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、式典は中止し、記帳と献花のみの実施となりましたが、ゆっくりと手を合わせることができました。

地震が発生した14時46分には、市の防災無線のサイレンと、教会やお寺の鐘が鳴り響き、皆こころをひとつにして犠牲者に黙祷を捧げました。

鎮魂の祈りを込めて…キャンドルナイト



キャッセン大船渡にある千年広場で『キャンドルナイト』がありました。今年で3回目ですが、今回は竹あかりを作る為のボランティアを集めず、関係者のみで作成されました。

オブジェには地元の竹が使われ、手を合わせて祈るイメージでドーム型に組まれたデザインで、高さは約3m、幅は約5mありました。

3月11日の夜には、竹灯りのオブジェに柔らかな光が点灯しており、小雨が降る中、写真を撮る人の姿が見られました。また、鎮魂の祈りの場には次々と人が訪れ、手を合わせていました。

また、鎮魂の祈りの場には次々と人が訪れ、手を合わせていました。

3中学校で最後の卒業式

3月14日に、大船渡市内の中学校で卒業式が行なわれました。今年には新型コロナウイルス感染拡大防止の為、どこの学校も規模を縮小し、出席者を制限するといった措置がとられました。

その中には、生徒数減少のため今年度末で閉校となり大船渡第一中学校に統合される吉浜・越喜来・日頃市の3校も含まれています。3校とも卒業生と保護者、来賓、教職員、在校生代表が式に参加したものの、例年通りであれば出席して卒業生を見送るはずの在校生の姿はなく、この日の為に練習してきた在校生による卒業生を送る歌も披露できない中での、最後の卒業式となってしまいました。

予期せぬ事態で、子ども達の努力や思いが報われない状況は、震災当時のように胸が痛みます。

4月からは、卒業した3年生は夢の実現のための次のステージで、1・2年生は大船渡第一中学校の生徒となって、新しい環境での学校生活が待っています。地元地域の誇りを胸に、たくさん学び、青春を謳歌してもらいたいです。



大船渡ベースの活動紹介

みんなで遊ぼう!



ドン・ボスコ・ボランティアグループ(DBVG)の5名の方々が、国内ボランティア活動としてベースに来訪し、2月23日に『みんなで遊ぼう』と題したイベントを行ないました。

午前中に大船渡教会でミサに参加した後、教会に来ている子ども達やベトナム人実習生達と一緒にベースに移動し、まずはお昼ごはんは皆でカレーとデザートを食べました。

その後は、ボランティアさんたちによるレクリエーション『船長さんゲーム』、『折り紙パズル』、『ストロー輪ゴムリレー』、『犬猫ゲーム』、『ひらがなビンゴ』などを楽しみました。小さな子どもから大人まで、また、ベトナム人実習生達にも理解しやすい内容になっていて、あちらこちらで大きな笑い声が絶え間なく起こり、とても盛り上がりました。参加者の方が楽しそうにしていたのはもちろんですが、ボランティアさん達自身が、前日のレクリエーション準備から、すでにとても楽しそうに活動していたのが印象的でした。

その後は、ボランティアさんたちによるレクリエーション『船長さんゲーム』、『折り紙パズル』、『ストロー輪ゴムリレー』、『犬猫ゲーム』、『ひらがなビンゴ』などを楽しみました。小さな子どもから大人まで、また、ベトナム人実習生達にも理解しやすい内容になっていて、あちらこちらで大きな笑い声が絶え間なく起こり、とても盛り上がりました。参加者の方が楽しそうにしていたのはもちろんですが、ボランティアさん達自身が、前日のレクリエーション準備から、すでにとても楽しそうに活動していたのが印象的でした。

被災地・殉教地見学

2月20日、いつもの被災地見学から足を伸ばして、ドン・ボスコ・ボランティアグループの方々とスタッフで、気仙沼の被災地・殉教地へ行きました。

まずは、カトリック気仙沼教会へ。主任司祭の歓迎を受け、教会の案内をして頂きました。気仙沼教会は献堂140年になる教会で、ドーム型の天井のあるゴシック様式の建築で、聖堂に響く音は素晴らしく、クリスマスにはコンサートが行なわれるそうです。案内をして頂いた後は、司祭館で大籠の殉教地についてのVTRを見せて頂きました。

次に、被災した校舎が震災の伝承館になっている気仙沼向洋高校の旧校舎へ。被災した当時のままの校内を歩いて見学することができ、また、震災当日やその後の被災者の証言の映像もあり、津波による被害と苦しみを改めて感じ入りました。

最後に、大籠キリシタン殉教公園へ行き資料館を見学した後、309段の石段を登ってクルス館へ。江戸時代の禁教下で、信仰を守っていた信徒達300人ほどが殉教した歴史を学びました。



2020年3月1日~31日の活動紹介

新型コロナウイルス感染予防対策として、3月から活動を見直しています。

◆3月初め

買物送迎・ベースでのイベント・サロン・公営住宅でのサロンを全て中止としました。在宅訪問は『玄関先訪問』に切り替え、見守り訪問を継続しました。

◆3月21日~

『玄関先訪問』から『電話で状況確認』へ変更しました。また、地域の方へお手紙を送る準備と、『町の様子』の取材を開始しました。ブログ・facebookで紹介しています。

大船渡市の元中心地の様子 (2020/4/11 撮影)



震災から
9年1ヶ月…

ボランティア登録者数

男性 678人
女性 1391人

⇒合計 2069人

◆3月1日~3月31日
ボランティア数
男 性: 0 名
女 性: 0 名

<ベースからのお知らせ>

新型コロナウイルス感染予防の為、当分の間、ボランティアさんの受け入れ、サロン・イベントをすべて中止とさせていただきます。なお、カリタス南三陸と共催の『東日本大震災応援ツアー2020』も今年度は中止とさせていただきます。